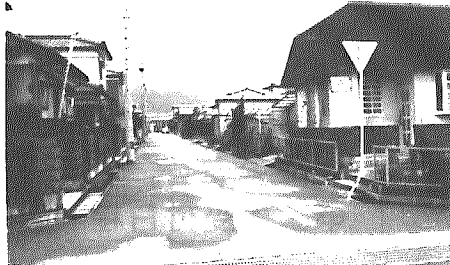


岩室記



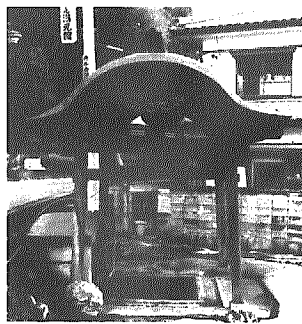
⑩いわむろ駅＝誕生から今年でちょうど二十年。本村の玄関口である（59年4月1日号）



⑨和納三田団地＝本村が県内第3位の人口増加率(7.3%)を示した。その一翼を担った地区（59年3月1日号）



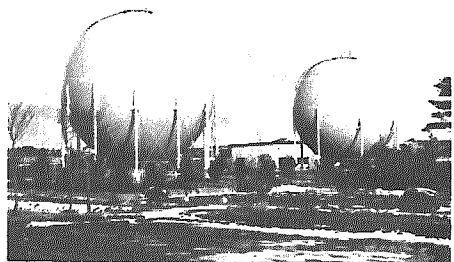
⑫越後七浦観音＝これは旧観音（59年8月1日号）



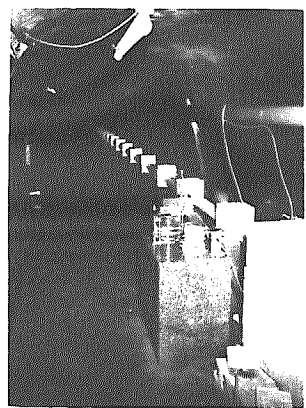
②湯壺＝岩室温泉発祥の湯元（58年6月1日号）



- ① 瑞甘露翁の碑（横曽根）
- ② 湯壺（岩室）
- ③ 稲架木（夏井）
- ④ 気象レーダー（多宝山）
- ⑤ 地殻変動観測所（間瀬）
- ⑥ 越後線（和納）
- ⑦ 北陸街道（石瀬）
- ⑧ フリーバス（間瀬）
- ⑨ 和納三田団地（和納）
- ⑩ いわむろ駅（和納）
- ⑪ 矢川・矢川橋（岩室）
- ⑫ 新樋曾山隧道（樋曾）
- ⑬ ガスホルダー（和納）
- ⑭ 越後七浦観音（間瀬）
- ⑮ 間瀬支所（間瀬）



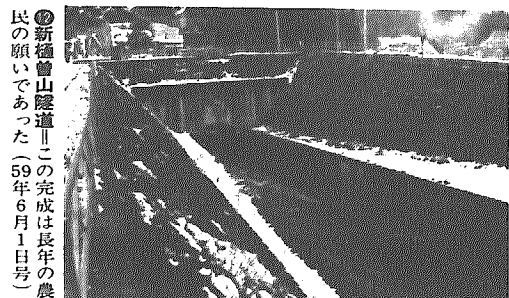
⑬ガスホルダー＝大きい方は約3万立方メートルの貯蔵能力がある（59年7月1日号）



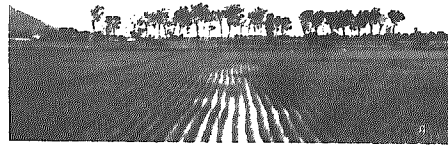
⑤地殻変動観測所＝地震多発国日本には、なくてはならない施設。正式な名称は、東京大学地震研究所弥彦地殻変動観測所（58年10月1日号）



⑪矢川・矢川橋＝岩室温泉の玄関口（59年5月1日号）



⑫新樋曾山隧道＝この完成は長年の農民の願いであった（59年6月1日号）



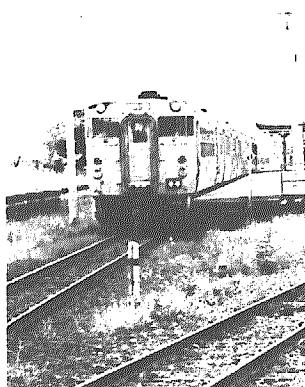
③稲架木＝蒲原平野の風物詩（58年7月1日号）



①瑞甘露翁の碑＝シリーズ第一号である（58年5月1日号）



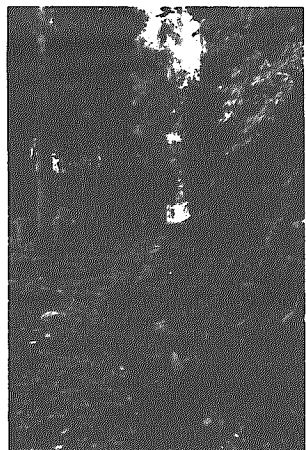
⑧フリーバス＝（59年2月1日号）



⑥越後線＝お見合い列車と呼ばれたディーゼル列車、現在は電化により、電車に（58年11月1日号）



④気象レーダー＝雨(雪)情報の最前線基地（58年9月1日号）



⑦北陸街道＝かつての八道のひとつ。松尾芭蕉も歩いたという。（58年12月1日号）



⑮間瀬支所＝60年3月31日で、三十年の歴史の幕を閉じた（59年9月1日号）

出掛けませんか!!

広報いわむろ巻頭シリーズ・岩室みである記

ふるさと再発見に

ひととは旅になにを求めたのでしょうか。見知らぬ風景のときめき。倦んだ日常からの脱出。心の洗濯。うまい空気。みずみずしい食べ物。思い出を洗い流す。湯のやさしさ。……そういったものすべてが、このいわむろなのです。

私たちの住む岩室村は、古い歴史と名所の多いまち。ふだんに気なく見ている風景なども写真という時を止めた「コマ」におさめると案外、すてきです。五十八年五月一日号からスタートした「岩室みである記」シリーズ。今号で三十回を数えます。そこで今号と次号の二回にわたって再掲載します。さあ、おとそ気分のみなさん、広報と一緒に村の一隅を散歩してみませんか。